

野菜・花卉・果菜・果樹に

醗酵・滋養カルシウム

カルシウムとミネラル栄養で、
もっと健康に！もっと美味しく！

ホウレン草 など酸性土壌
を嫌う作物に最高！

果実の成熟促進

着果の向上

優良菌の
増殖促進

花芽と樹勢の維持

作物の糖度向上

畑のカルシウム

チツソ過多を抑制

土が酸性の時

(作物が植わっていても使えます。)

花が弱いとき

作物が萎縮
しているとき

果実の腐敗対策

石灰の様に
土を堅くしない

10kg/袋

※ トマト、キュウリ、ナス、イチゴ、カボチャ、トウモロコシ、ブロッコリー、レタス、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、エンドウ、ホウレン草、シュンギク、アスパラガス、タマネギ、ネギ、コマツナ、大豆、果樹、等々の作物に使えます。

※ 稲、ジャガイモ、茶、ブルーベリー、栗などの酸性を好むものには、カルテックCaをお勧めします。

※ 肥料は作物に合わせて施肥してください。(当資材にはチツソ、リン酸、カリはほとんど含まれておりません)

【ご注文は】

株式会社 カルテック

本社 兵庫県篠山市郡家 87-10
TEL(079)554-2212 FAX(079)554-2213
ホームページ <http://www.caltec.org>

カルテック 畑のカルシウム^(R)

[10kg詰め]

【内容】																															
原材料と内容	炭酸カルシウム(石灰)鉱物を微粉砕し、米麦由来の酵母・乳酸菌等の醗酵液(飲食品製造に用いられるのと同類のもの)に、極少量ずつ十分に長時間をかけて反応させ、沈積・熟成した製品です。無理な加熱や化学反応をさせず、製造・調整過程での経験と工夫により、醗酵有機イオン化した滋養カルシウムの補給資材となっています。(肥料登録:愛知 第1604号、他)。																														
成分分析例	主成分… 醗酵有機カルシウム 約70% (CaO換算:約35%) 醗酵有機は 糖類・有機酸類・核酸類・補酵素類等の化合物の複合物です。																														
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">主成分の醗酵カルシウム以外の不純物の含有量はごくわずかです。チツソはゼロです。</td> <td>リン酸</td> <td>P₂O₅</td> <td>0.4%</td> <td>鉄</td> <td>Fe</td> <td>0.26%</td> </tr> <tr> <td>カリウム</td> <td>K₂O</td> <td>0.2%</td> <td>マンガン</td> <td>Mn</td> <td>0.03%</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸</td> <td>SiO₂</td> <td>1.3%</td> <td>銅</td> <td>Cu</td> <td>0.01%</td> </tr> <tr> <td>ホウ素</td> <td>B</td> <td>0.04%</td> <td>モリブデン</td> <td>Mo</td> <td>0.01%</td> </tr> <tr> <td>亜鉛</td> <td>Zn</td> <td>0.02%</td> <td>ナトリウム</td> <td>Na</td> <td>0.04%</td> </tr> </table>	主成分の醗酵カルシウム以外の不純物の含有量はごくわずかです。チツソはゼロです。	リン酸	P ₂ O ₅	0.4%	鉄	Fe	0.26%	カリウム	K ₂ O	0.2%	マンガン	Mn	0.03%	ケイ酸	SiO ₂	1.3%	銅	Cu	0.01%	ホウ素	B	0.04%	モリブデン	Mo	0.01%	亜鉛	Zn	0.02%	ナトリウム	Na
主成分の醗酵カルシウム以外の不純物の含有量はごくわずかです。チツソはゼロです。	リン酸		P ₂ O ₅	0.4%	鉄	Fe	0.26%																								
	カリウム		K ₂ O	0.2%	マンガン	Mn	0.03%																								
	ケイ酸		SiO ₂	1.3%	銅	Cu	0.01%																								
	ホウ素		B	0.04%	モリブデン	Mo	0.01%																								
	亜鉛	Zn	0.02%	ナトリウム	Na	0.04%																									
特長と機能	<p>①水溶性……もともと「石灰」(炭酸石灰等)はほとんど水に溶けない(0.015g/リットル)のに対して、200倍(前後)の溶解度(約2.9g/リットル)があり 確実に水に溶けて、土壤溶液のカルシウム濃度を適度に高く維持し、作物にカルシウム栄養を供給します。</p> <p>②弱アルカリ性 ……原体pH: 約8.0(弱アルカリ性)です。一般の「石灰」(pH:9以上の強アルカリ性)のように土壤微生物を死滅させることがなく、団粒構造化を促し 膨軟な土を作ります。</p> <p>【土壤pHを 0.5引上げるのに必要な 10アール当り 施用量の目安】</p> <table border="1"> <tr> <td>火山灰土 100kg</td> <td>壤質土・粘質土 60kg</td> <td>砂質土 40kg</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常、1作分の酸性化(土壤pHの低下)幅: 0.5程度は、上記の量で中和できますから他の石灰など アルカリ資材は不要となります。 ● 通常の畑地では、投入量200kg以内であれば、pH: 7.0以上とはなりません。 <p>③作物への速効的なカルシウム栄養補給 カルシウムはあらゆる植物の多量・必須栄養素です。特に野菜・花卉・果樹は チツソより多量のカルシウムが必要で、これにより、健康な生育・病気に強い・色ツヤが鮮やか・腐れない・美味い、という高品質が実現します。作物が速効的・直接的に吸収・活用できるのは、生体内で有機イオン化した『醗酵態』のカルシウムです。〈畑のカルシウム〉は、この『醗酵カルシウム』なのです。</p>	火山灰土 100kg	壤質土・粘質土 60kg	砂質土 40kg																											
火山灰土 100kg	壤質土・粘質土 60kg	砂質土 40kg																													

【野菜・花卉への使い方】 (本畑の施用量は 10アール当り)

時期	施用量	目的
育苗期	予め、培土に3%~5%混和。または 1鉢10g(~20g)置き肥。	苗を太く、強く、元気にします。凋れず、病気を寄せ付けず、発根力の旺盛な苗作りは 栽培の基本です。
【カルシウムの元肥】 土作り時~作付け時	60kg (40~80kg)	初期から ガツンリと健康な生育となります。 (2カ月程度で収穫する作物なら、カルシウムは これだけ)
【カルシウムの追肥】 生育の途中	20kg (10~60kg)	生育中盤から 月1回施用で、ひきしめ・健全化。 (特に開花の20日前、収穫の40日前は効果的)

【果樹への使い方】

時期	施用量	目的
秋・元肥時(秋~冬)	各期それぞれ 30kg (~60kg) [年間合計 120kgほど]	カルシウムで 健康な土と樹体の基礎作り。
春肥時(開花20日前)		花を強く咲かせ、果実の品質を向上させる。
玉肥時(梅雨期)		根と葉の疲れ・果実の腐敗を防ぐ。来春の花にも。
収穫 40日前		果実の着色・増糖・成熟を促進。秋枝の充実も。

● 施用の時期は何時でも可能です。何と一緒にでも使えます。

散布すれば 降水で浸透しますが、土に混ぜ込むのが より効果的です。

【注意】(アルカリ性資材ですので、酸性資材・肥料と直接混合して、水分を与え、長時間おくと、硫安の場合は、アンモニア・ガスを発生させます。

硫安や、チツソ肥料類と同じ日に施用する場合は、時間をおかずに散布し土に混ざるように施してください。)

● チツソ等の肥料を施用する時期に、畑のカルシウムも施用するのが 確実です。

(硫安の場合は目安として同量以上の畑のカルシウム)

● 多肥の場合・極端な酸性土壌の場合は 施用量を多めに。少肥の場合は 施用量を少なめにして下さい。

● 特別に、土を酸性にすべき作物 [ジャガイモ、茶、栗、ブルーベリー]には、カルテックCa粒状をお勧めします。